

2015年6月29日

横浜市立青葉台中学校 学校だより 自由と規律 - 7月号

Tel 983-1062 Fax 983-7103

E-mail: y2aobadai@edu.city.yokohama.jp

発行者: 青葉台中学校 校長 脇山 幸之

毎月テーマを決めて、書いていきます。今月は “どないかします” です。

本校に異動してきて2か月たちました。いろんな場面で先生や、生徒たちと、そして保護者の方、地域の方とお話したりする機会が多くありました。そしてわかってきたことがあります。隠しているつもりもないのですが、何かの折に気づかれてしまっていることが多いのです。実は私は生まれも育ちも大阪です。学生時代は名古屋で過ごし、就職して東京に来ました。そして校長になって横浜でお世話になっています。今、青葉台で仕事をしていると、なぜか関西の方が多く、その方々との話は、大阪での表現や口調になってしまうことが多くあります。そういうことを日々経験している時、とても懐かしい、しかし、とても含蓄のある言葉を新聞で読みました。元大阪大の総長をなさっていた鷲田清一先生のコラムでした。それはまさしく、ストリートスマートの発想です。そう思ってここに紹介したいと思います。しかし、それは新しいことでなく、どんな方も基本的に持っている発想ではないでしょうか？

その言葉は 「どないかします。」です。ちょっとむずかしいでしょうか？ 少し説明しますが、それは大阪の町工場などでよく使われています。町工場のおやじさんたちが、よく使っています。彼らは、全くの技術屋魂をもって、この言葉を武器にして、日々仕事を進めていると思います。鷲田先生はこう書かれています。「どう考えても無理、採算も合わん、けれどこの人の必死の思いをかなえてやりたい・・・と、この一言でどんな難しい注文も請け負う。とんでもない工夫と精度が求められるが、人の求めに応える喜びと、無理に挑む楽しさがある。」と。

だから、彼らは必死に挑戦する。これはまさしくストリートスマートの発想だと思いました。よく人が言う「なんとかします」とはまた少し違う。この微妙な違いに気が付かれますか？ 何とかしますは、どこか苦しさを私は感じます。これは教育にも当てはまることで、先生方はいろんな状況で、全体のバランスをも見ながら、とりくんでいると思います。家庭でも、何かあった時は、あっさりだめだとあきらめないで創意工夫してほしいと希望します。両輪となりより良い対応を取っていきましょう。そうしてストリートスマートを目指しましょう。皆さんもすぐにあきらめないで、工夫をしながら、今解決しないといけないことを見つけて、それを課題として、知恵を出しあって解決してほしい。そういうことのできる人になってほしいと思います。まず挑戦！そして集中と工夫が求められます。

○ このコーナーではいろんな数字(データ)を記載、その数字を見て考えていただきたいのです。さーどうしましょうか？

OECD 国際教員指導環境調査 (H25年2-3月)「学校の学習環境と教員の勤務環境に焦点を当てた国際調査」について書きたいと思います。

これは調査項目として◆①教員と学校の概要◆②校長のリーダーシップ◆③職能開発(研修などの実施)◆④教員への評価とフィードバック◆⑤指導実践、教員の信念、学級の環境◆⑥教員の自己効力感と仕事への満足度の6つがあります。今回は、教員の仕事の時間や 学級運営の方法 について記載します。

1) 教員の仕事時間

	仕事時間の合計	指導(授業)に使った時間	学校内外で個人で行う授業の計画や準備に使った時間	学校内での同僚との共同作業や話し合いに使った時間	生徒の課題の採点や添削に使った時間	生徒に対する教育相談に使った時間
日本	53.9 時間	17.7 時間	8.7 時間	3.9 時間	4.6 時間	2.7 時間
参加国平均	38.3 時間	19.3 時間	7.1 時間	2.9 時間	4.9 時間	2.2 時間
	学校運營業務への参画に使った時間	一般的事務業務に使った時間	保護者との連絡や連携に使った時間	課外活動の指導に使った時間	その他の業務に使った時間	
日本	3.0 時間	5.5 時間	1.3 時間	7.7 時間	2.9 時間	
参加国平均	1.6 時間	2.9 時間	1.6 時間	2.1 時間	2.0 時間	

2) 学級の規律的雰囲気

	授業を始める際、生徒が静かになるまでかなり待たなければならない	この学級の生徒は良好な学習の雰囲気を創り出そうとしている	生徒が授業を妨害するため、多くの時間が失われてしまう	教室内はとても騒々しい
日本	14.7%	80.6%	9.3%	13.3%
参加国平均	28.8%	70.5%	29.5%	25.6%

これらをまとめたレポートの内容は以下の様に分析されているようです。みなさんもほんとにそうだと、思われますか？そんなことないよと思われますか？もっとひどいよと思われますか？

<教員の仕事の時間配分> (主にイタリック体の部分)

* 日本の教員の1週間当たりの勤務時間は参加国最長(日本 53.9時間、参加国平均 38.3時間)。

* このうち、教員が指導(授業)に使ったと回答した時間は、参加国平均と同程度である一方、課外活動(スポーツ・文化活動)の指導時間が特に長い(日本 7.7時間、参加国平均 2.1時間)ほか、一般的事務業務(日本 5.5時間、参加国平均 2.9時間)、学校内外で個人で行う授業の計画や準備に使った時間(日本 8.7時間、参加国平均 7.1時間)等も長い傾向にある。

<教員間の協力>

* 日本では、「他の教員の授業を見学し、感想を述べることを行っていない」と回答した割合は他の参加国に比して極めて低い(日本 6.1%、参加国平均 44.7%)。これは、授業研究等の校内研修が広く行われている現状と一致するものである。

<学級の環境>

*学級の規律的雰囲気について、我が国は参加国平均に比べて良好な結果を示している。例えば、「生徒が授業を妨害するため、多くの時間が失われてしまう」と回答した教員の割合は、参加国中で最も低く、「教室内はとても騒々しい」も参加国中2番目に低い。

○ 個別支援学級の一連の行事が順次進んで行われています。

5月1日、本校個別支援級で、近隣で校外学習を行いました。ファミレスで昼食を摂り、仲間の結束を深めながら、体験学習を行いました。6月9日に親子レクを開催しました。保護者の方も参加していただき、大縄跳びなどで汗を流し、昼食作りもして、楽しいひと時を過ごしました。6月19日山内中学校を訪問し、青葉区全体の交流会を行いました。当日は雨交じりで天気は良くなり寒いくらいで少し解散を早くしましたが、基本的には元気良く参加してきました。2学期以降ですが、今後は、9月10-11日に、愛川ふれあいの村での宿泊学習があります。そして10月1日、三ツ沢グランドでの運動会です。しっかり準備してより一層素晴らしい時間にしていきましょう。

○ 進路説明会が6月17日開催されました。

13時30分から体育館にて、今年度1回目の進路説明会を行いました。当日は県立市ヶ尾高校、県立多摩高校、麻布大学付属高校、三田国際学園高校からの学校説明から始まり、進路の考え方、今年の公立高校の試験の概要等を説明しました。昔とは違いその制度は激変しており、しっかり調べ、しっかり事前訪問する計画をたててほしいとお伝えしました。また、不明点は早いうちに解決するように先生に相談してほしいともお伝えしました。全員が納得のできる進路選択ができ、来年の春に全員が心から笑えるように、家庭、学校で連携よく、しっかりやっていきましょう。

○ 1年都筑太鼓(6・24)、2年留学生との交流(6・18)、会計士の話(6・23)、3年職業講話(6・29)、実施!

それぞれキャリア教育の一貫を兼ねて、地域の方々から来ていただき、授業をおこなって頂きました。

都筑太鼓では、5名の代表が実際に演奏に挑戦して揃った音を出していました。身近な地域での伝統文化の一旦に触れました。留学生との交流では、渋谷で日本語を学んでいる学生に来校していただき、ネパール、フィリピン、中国などの言葉、その文化を説明していただき、各国のじゃんけんなどを行い盛り上がりました。これを通じて日本人のアイデンティティーの大切さを持ってほしいと感じました。3年生は、キャリア教育の一貫で未来を見つめるためにいろんな仕事をしている方々に生のお話をうかがいました。地域の横浜田園ロータリークラブのご紹介で9種類のお仕事の方々から説明を受けました。みんなはどう感じたでしょうか?タウンニュースに報道される予定です。社会の授業として会計士の授業として、公認会計士協会が地域貢献の一環としている「ハロー会計」を受けました。24日の神奈川新聞17面にも大きく報道されました。経済の成り立ちを指導していただき、各自の認識のアップデートを行いました。

どれも教師以外から受ける授業で、いつもとは少し違う緊張した雰囲気です。素晴らしい体験授業になったと思います。青葉台中でも、こういう体験を増やしていき、自分で考え判断する力をつけてほしいと思います。こ

うすることでストリートスマートの力が増していくと考えます。

○ 青葉区の教科・領域研究会が 6月25日本校で開催されました。

毎年2回ですが、青葉区の先生方が教科ごとに集まり、議論を行いより良い授業や学校生活を目指そうという会議を行っています。今年度の1回目を本校で行いました。いつも感じるのですが、先生たちの深い想いと各種の計画のすりあわせが今回も話し合われて有意義な会議と感じました。今年も一層素晴らしい青葉区の教育を形成して行きたいと思います。

○ 教育実習 6月15日から3週間

今年も教育実習生が実習に来ています。毎日緊張しながら、熱心に勉強に取り組んでいます。みんなも一緒に、仲良く学校生活を過ごしてください。よろしくおねがいします。実習生はしっかりと自分のプラスになるものを多く吸収してください。(敬称略)

理科：小松優士(こまつゆうし)、数学：上妻遼太(こうづまりょうた)、音楽：吉村樹(よしむらいつき)、保健体育：橋由貴(たちはなゆうき)、英語：山田葉文(やまだまあや)

○ 海外児童日本体験プログラムの国外部分が始まりしました。

6月20日：渋谷において7月21-31日に訪問する、オーストラリアでの活動の説明会が行われ、代表の8名と参加しました。一緒に行く荒川区の8名とも交流できました。現地で行う日本紹介のプログラムを中心にカリキュラムの確認をしました。代表として立派に訪問できるように現在準備用意を行っています。

***部活動などで頑張る生徒たち(敬称略) 朝会等で表彰させていただいた分を紹介します！**

おめでとうございます。

+ 剣道部

青葉区民剣道大会 中学1年男子の部 準優勝 1年 加賀敬浩

青葉区中学校春季剣道大会 準優勝 1年 加賀敬浩

青葉区中学校春季剣道大会 第3位 女子団体の部(7名)

+よこはま子ども国際平和北*フロンティア 青葉区代表に選出！ 7月29日市大会に参加！ 3年 前田里奈子

***生徒会の活動**

*6月4日、生徒総会が開催されました。議案書に従い本部からはじめて、全委員会の議論が行われました。積極的な議論が続き、素晴らしかったと思います。重点目標：準備と努力は裏切らない。活動スローガン：「日進月歩」となりました。これを意識して学校生活を送ってください。

体育祭のスローガン：闘志なき者は去れ～30回目の本気モード～

文化発表会のスローガン：瞬彩～この瞬間、全てを輝かせ～ を採択しました。言葉通り実現できるように集中して活動してください。

*生徒会の本部企画のレクとして6月30日、7月1、2日、学年を超えて交流を深めるということを念頭におき「ドッチビー」を行うことになりました。より深い交流を得て、楽しい時間になる様に力を合わせて行ってください。

***PTA、部活動振興会 の活動 今年のスローガン：青中に行こう！知ろう！楽しもう！子どもの笑顔のために！**

PTA：

+ 6月12日、出発会を兼ねる本部役員会が開催されました。総会の反省と行い、各種活動、区P連の活動、学校運営委員会などの報告が行われました。桜台祭りプロジェクト、体育祭PTA競技、文化委員会のガーデニングなどの話し合いがなされました。各種活動がより有意義になるようにみんなで力をあわせて、努力していきましょう！

+ スクールゾーン協議会 青葉台小(24日)、榎が丘小(22日)、鴨志田第1小(25日)にそれぞれ開催され、学区の特に交通安全の維持のための方策を警察、道路局、区役所、町内自治会の方々と一緒に、熱心に協議しました。

部活動振興会：

第2回 6月18日に開催されました。入部の一連の作業は終わり、いよいよ夏の大会に向けて活動も本格化しました。主に各部の活動報告が行われました。どの部も精いっぱい努力して少しでも良い成績を収められるように祈るのみです。よろしくお願いいたします。